

● 共催・協力事業

ボランティア・NPO活動センターには、さまざまな地域団体や行政などから事業への協力依頼があります。センター内でどのように関わっていくのかを検討し、多くの場合、学生スタッフやコーディネーターが協働でそれらの依頼に対応しています。

企画名	スタディツアー合同説明会
実施日	夏季ツアー説明会：2012年6月9日（土）13時30分～17時00分 冬季・春季ツアー説明会：2012年10月20日（土）13時30分～17時00分
場所	キャンパスプラザ京都（2Fホール）
実施主体	（共催）特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会／株式会社 マイチケット ボランティア・NPO活動センター
参加人数	夏季 約50人／冬季・春季 約35人

■経緯・目的

センターには年度初めから「海外でのボランティアに関心がある」「長期休暇中にスタディツアーに参加してみたい」「どんなスタディツアーがあるのか知りたい」という学生が多く来室します。

そこで、センターの提携団体である（特活）関西 NGO 協議会と、海外体験学習プログラム（P61参照）でも各種手配に携わっている㈱マイチケットとの共催で、スタディツアーを企画している NGO 団体を集めて合同説明会を2009年度より継続開催しています。

これまでの実績より、数多くの NGO 団体が出展くださるようになり、学生・大学と NGO との連携の場として、今年度は、合同説明会前の時間を使って「大学と NGO スタディツアー情報交換会」を試行実施しました。

■概要

【大学と NGO スタディツアー情報交換会】

◎11：30～13：00 ランチオンミーティング

大学と NGO の担当者が、海外スタディツアーにおける大学と NGO の連携について直接話し合うことができる場として設定、情報交換を行いました。

参加団体：

※ NGO 関係

CFF ジャパン／JIPPO／JVC・日本国際ボランティアセンター／NGO とも／PHD 協会

／アクセス／ウータン・森と生活を考える会
／ジュレーラダック／地球の友と歩む会
LIFE／ツナミクラフト／緑の地球ネットワーク

※大学関係

大阪府立大学／関西大学／甲南女子大学／龍谷大学

※関西 NGO 協議会／マイチケット

【夏季ツアー説明会】

◎14：00～15：00 第1部

「スタディツアー入門 スタディツアーって何？ 何が得られる？ 何を学べる？」

講師：佐藤友紀氏 NPO 法人開発教育協会大阪事務所

実際にあったスタディツアーでの「出来事」を通して、スタディツアーを楽しむ、体験する、学ぶポイント、そして現地で気をつけるべきことを、参加者と NGO スタッフとが一緒に考えるワークショップ形式で学びあいました。



◎15：00-17：00 第2部

「NGOに直接きいてみよう—スタディツアーのこと」

参加NGO団体（別表）が会場内にブースを設け、ブースごとに各団体それぞれの企画するスタディツアーについてブース来訪者に説明しました。説明会参加者はそれぞれ関心のある団体のブースを訪問し、団体の取り組みやツアー内容などを個別に質問します。出展団体以外のチラシや団体パンフレット等も設置し、参加者が手に取って比較・検討できるようにしました。

また16：30からは、ブースを訪れた印を集めた参加者を対象に(株)マイチケット提供による旅行券やNGO団体などから提供された景品の抽選会を実施しました。

【冬季・春季ツアー説明会】

◎14：00-15：00 第1部

「スタディツアー…どんな団体が？ どこへ？何を学べる？」

参加NGOがそれぞれどんなスタディツアーを行っているのか、行き先、プログラム、特徴などを1団体につき5分程度でプレゼンしていただきました。

◎15：00-17：00 第2部 夏季と同内容

	ブース出展団体
6月	ARBA、CFF ジャパン、ICYE ジャパン、JIPPO、JVC・日本国際ボランティアセンター、NGOとも、NICE・日本国際ワークキャンプセンター、PHD協会、000グローバルビジョン、アクセス、アジア太平洋農耕文化の会、ウータン・森と生活を考える会、ジュレーラダック、地球の友と歩む会LIFE、ツナミクラフト、ニランジャナセワサンガ、プラビーダの会、緑の地球ネットワーク、関西NGO協議会、マイチケット 計20団体
10月	CIEE、ICYE ジャパン、PHD協会、アクセス、ウータン・森と生活を考える会、ソムニード、地球の友と歩む会LIFE、ツナミクラフト、ニランジャナセワサンガ、緑の地球ネットワーク、関西NGO協議会、マイチケット 計12団体

■参加者の声・得られた効果など

- 自分の知らない活動・世界を知ることができてすごく楽しかった！
- ブースでツアーの良さを熱く語ってもらえたので、全部行きたくになりました。
- ホームページだけではわからない、生の情報を聞くことができて、すごく勉強になりました。
- スタディツアーといってもいろいろな種類のものがあることを知ってよかった。
- 海外での活動の夢が大きく広がった。
- どの団体からもよい刺激を受けてよかったです。
- 何もわからず参加したけれど、くだって説明してくださったのでわかりやすかったです。

■コーディネーター所感

昨年度からの声を反映し、スタディツアーを企画する側の団体同士のネットワークづくりや、大学との連携に向けた情報交換の場として、大学とNGOスタディツアー情報交換会を説明会前の時間を使って実施しました。NGOからは海外スタディツアーにおける大学との連携について期待の声が大きいものの、まずは大学組織の意思決定の流れや、部署ごとのツアー企画に対するニーズや特徴についての情報収集が必要なのことが確認されました。

夏の説明会では、初めてワークショップ形式でのスタディツアー入門を行いました。実践的な場面設定が好評でした。出発から順を追った出題により、具体的にスタディツアーをイメージできたようです。

冬・春の説明会では、年末年始のツアー参加希望者へ配慮し日程を例年より早めたところ、ツアー催行が未定の団体が多く、ブース出展団体が少なくなったこともあり、参加者が少なくなりました。少ない参加者の中では、例年よりじっくり話を聞くことができたことと満足度が高かったようです。

今後はより多くの方が参加しやすい会場設定や、場作りを進め、広報に力を入れていきたいと思えます。

〈報告者：竹村 光世

（深草キャンパス コーディネーター）

○その他の地域イベントなどへの出展・協力

センターでは、これまで報告してきた事業以外に特に協力等が必要と思われるイベント等へ出展、協力を行いました。

■「福祉ボランティア・社協フェスタ」への出展（深草）

日時：2012年10月14日(日)

場所：みやこめッセ

内容：「共につくろうきょうの絆」をテーマに開催されました。7つのゾーンのうち、大学・企業・ボランティアゾーンにブースをいただき、学生スタッフ9名とコーディネーター1名の計10名でボランティア・NPO活動センターの活動紹介を行いました。

今年はずっと以上にたくさんの方にブースに来場していただくことができ、ボランティア・NPO活動センターの活動について知っていただくと共に、地域の皆さんの想いに直接ふれる良い機会になりました。



■「学生ボランティアフォーラム」(第1回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会)への出展（深草・瀬田）

日時：2013年2月27日(水)～28日(木)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

内容：深草学生スタッフ9名と瀬田学生スタッフ8名、コーディネーター1名の計18名でボランティア・NPO活動センターの活動紹介を行いました。

写真やDVDなどで、東日本大震災復興支援についての本学の活動やセンターの自主事業などを紹介し、他大学の学生などにセンターの活動を知ってもらえる機会となりました。

